

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	暮らしとお金 2 (Personal Finance 2)					担当教員	山川 智子 (ヤマカワ トモコ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL/資格対応 科目
	2037-4-23-134	専門科目	選択	2単位	2年次	後期		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL/資格対応 科目
	2437-4-23-073	専門科目	選択	2単位	2年次	後期		

① 授業のねらい・概要					
<p>社会生活を送るうえで欠かせない「お金」の問題を、ファイナンシャル・プランナー（FP）3級相当から2級にかけての知識を学び、自主的に考えてゆくことを狙いとする。「自分や家族の生活を守るために必要となってくるお金はどれくらいか？」日常行動とお金の関わり、経済と個人の関わりも包括的に学ぶ。後期の「暮らしとお金2」ではFP2級技能士試験の学科試験形式を主に取り上げる。</p>					
② ディプロマ・ポリシーとの関連					
<p>専門的知識・技能を活用する能力 / 職業人として通用する能力 / 情報収集・分析力</p>					
③ 授業の進め方・指示事項					
<p>原則としてFP2級技能士の過去問練成や基本書の重要事項の解説、事例紹介を中心に授業を行う。授業で取り上げる問題は過去問主体で、似たようなパターンが繰り返し何度も出題されている。税に関する箇所では、外部の専門家を招聘して理解をより深める。</p>					
④ 関連科目・履修しておくべき科目					
<p>前期の「暮らしとお金1」（FP3級試験相当）も併せて履修するのが望ましい。後期の「暮らしとお金2」（FP2級学科試験相当）は、前期内容の理解が前提となる。少なくともFP3級相当の知識が頭に入っていないと、授業についてゆくの難しいと思われる。</p>					
⑤ テキスト(教科書) ※授業で使用する。					
『2026-2027年版 わかって合格FPのテキスト 2級・AFP』TAC出版編集部 編著 (TAC出版) ※5月頃発売のため各自で購入					
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。					
『2025-2026年版 わかって合格FPの問題集 2級・AFP』TAC出版編集部 編著 (TAC出版)					
⑦ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)					
<p>マネーリテラシーが欠如していると、そのしわ寄せは自分自身に戻ってきます。社会人になってから役立つ知識が多いので、あまり実感は湧かないかも知れませんが、身近なところから少しずつ知識もお金も蓄えてゆきましょう。</p>					
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安					
<p>(1) ライフプランニングとリスク管理の概要を把握し、与えられた資料から数値の計算ができる。 (2) 金融資産運用や税制度について、経済学で習った程度の基礎的な事項の解釈と説明ができる。 (3) 不動産や相続にまつわる法律上の約束事や制限を踏まえて、資料からの数値の計算ができる。</p>					
⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1) ライフプランニングとリスク管理	キャッシュフロー表の概要や年金制度を説明できる。	6つの係数や可処分所得の計算が資料なしでもできる。	6つの係数や可処分所得の計算が、資料を見てできる。	ライフプランニングの考え方の正誤判別はできる。	資料を見ても正誤判断や計算ができない。
(2) 金融資産運用や税制度	金融資産運用の制度の説明ができて、事例の金額を計算できる。	金融資産運用や税金控除などの計算が資料なしでもできる。	金融資産運用の各種指標の計算が、資料を見てできる。	金融資産や税制度の初歩的な用語の意味を、資料を見ながら言える	資料を見ても正誤判断や計算ができない。
(3) 不動産と相続・事業継承	法律の考え方を踏まえ、資料などでも相続や不動産の計算もできる。	不動産や相続に関連する事例の計算が、資料などでもできる。	不動産に関する指標の計算が、資料を見てできる。	相続や権利についての基本事項の正誤判別はできる。	資料を見ても正誤判断や計算ができない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法							
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%			30%		100%
(1) ライフプランニングとリスク管理	30%	10%			10%		50%
(2) 金融資産の運用と税制度	10%	5%			10%		25%
(3) 不動産と相続・事業継承	10%	5%			10%		25%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	出席は Google Drive で管理する。試験の解答用紙は、原則返却しない。課題等は確認・添削後、修正すべきポイントや評価基準を、適宜授業で知らせる。						
⑪ 授業計画と学習課題							
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）					
1	オリエンテーション～FP3 級レベルの内容の振り返り	配付資料振り返りとテキスト第 1 章通読 120 分					
2	ライフプランニング：6 つの係数や公的年金の基本的計算	配付資料振り返りとテキスト第 1 章通読 120 分					
3	ライフプランニング：各種年金の特徴と制度の違いを把握	配付資料振り返りとテキスト第 1 章通読 120 分					
4	リスクマネジメント：公的保険と保険制度運用のしくみ	配付資料振り返りとテキスト第 2 章通読 120 分					
5	リスクマネジメント：医療保険や損害保険・地震保険の特徴	配付資料振り返りとテキスト第 2 章通読 120 分					
6	金融資産運用：経済学に関連する指標と金融の基本事項	配付資料振り返りとテキスト第 3 章通読 120 分					
7	金融資産運用：資産運用に関連する計算と内容の比較検討	配付資料振り返りとテキスト第 3 章通読 120 分					
8	タックスプランニング：税制度の概要と所得税のしくみ	配付資料振り返りとテキスト第 4 章通読 120 分					
9	タックスプランニング：控除と損益通算、税の種類と計算	配付資料振り返りとテキスト第 4 章通読 120 分					
10	タックスプランニング：確定申告のやりかたと納税制度	配付資料振り返りとテキスト第 4 章通読 120 分					
11	不動産：不動産に関連する指標や制度のあらましを把握	配付資料振り返りとテキスト第 5 章通読 120 分					
12	不動産：不動産の運用や関連法規の取り決めの概要	配付資料振り返りとテキスト第 5 章通読 120 分					
13	相続・事業継承：相続に関連する民法の基本的な制度	配付資料振り返りとテキスト第 6 章通読 120 分					
14	相続・事業継承：事業継承に関連する法規や取り決め	配付資料振り返りとテキスト第 6 章通読 120 分					
15	総括：試験対策とこれまでの内容の振り返り	配付資料振り返りとテキスト第 6 章通読 120 分					
⑫ アクティブラーニングについて							
知識定着・確認型 AL を採用する。お金に関するアンケートを授業で行い、その結果を授業で共有しマナーリテラシーの向上を図る。雑誌記事や新聞ニュースなど、時事問題の資料も適宜提示することで、生活に関わるお金のしくみへの関心を深めてゆく。							

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性